

沖縄慰霊の日を迎えて

いつになったら慰められるのか、戦後66年いまだ爆音は止まず

沖縄県は毎年6月23日を太平洋戦争における沖縄戦の終結した日として、慰霊の日
に制定しています。沖縄戦での20万人以上の犠牲者をはじめ、海上、海外で亡くなっ
た戦没者の冥福（めいふく）と世界の恒久平和を願い、糸満市摩文仁の平和祈念公園で
は毎年沖縄全戦没者追悼式が行われます。

1945年3月から始まった沖縄戦で戦闘の結果、20万人の犠牲者が出ました。こ
のうち非戦闘員が9万4000人といわれています。戦闘の犠牲者の半数が一般人なの
です。5月22日、日本軍の敗北で軍隊による戦闘はこのとき事実上集結しました。

本土決戦に備え捨て石にされた沖縄

サイパン、レイティ、フィリピンと本土防衛網を次々崩され、最後の防衛線沖縄を死
守できなかった軍部は、本土防衛体制が完成されていないとして、軍隊による組織的な
闘いをおえた後も、一ヶ月におよび民間人を巻き込んだ悲惨な闘いが展開されたのでし
た。

戦争とは何だったのか？

なんのための戦争だったのか、宗教だとか、民族だとかという大儀らしきものを振り
かざしてはいるけれど、その本質は、これまで世界を支配してきたイギリス、フランス
などに対し、ドイツ、イタリア、日本など新興勢力との利害対立でした。つまり国家間
の金儲けのために犠牲にされたのです。

基地を押しつけられ未だ犠牲を強いられる沖縄

『Not in my backyard』我が家の裏庭では勘弁ということわざがあるそうです。身近
に歓迎されない施設、産廃や最近では原発です。沖縄では基地、いずれも人工密集地
では建設できないため、過疎の地域がターゲットにされ補助金などで自治体の財政を成り
立たせています。沖縄では、国土の0.6%である沖縄に70%の基地が集中しているの
です。そのほとんどが私有地で実際基地の周りに住宅があり、昼夜とわず爆音が不気味に
なり響いています。お墓も基地内に残された住民は慰霊の日お参りにも行けません。

いつになったら静かに休めるのでしょうか。せめて今日だけでも飛ばさないで。

